

- 問1 北海道の中央南部に位置し、石狩低地帯の東側から南の襟裳岬方面へと南北に連なる険しい山脈の名称として、最も適切なものを選びなさい。
(2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 赤石山脈 2. 飛騨山脈 3. 奥羽山脈 4. 日高山脈
- 問2 北海道、茨城県、新潟県、青森県などの農業統計において、農家一戸あたりの平均耕地面積を比較すると、北海道は約30ヘクタールと、他の都府県の数ヘクタール程度に比べて圧倒的に大きな数値を示しています。このような統計上の特徴を持つ北海道の農業の特色として、最も適切なものはどれですか。
(2016年 京都府公立入試 類似)
1. 農家一戸あたりの面積が小さく、多くの労働力を必要とする 2. 大型機械を活用した大規模な農業が行われている 3. 米の二毛作が盛んで、土地の利用効率が極めて高い 4. 都市近郊での集約的な施設園芸が中心である
- 問3 日本を七つの地方に区分した統計において、北海道地方の耕地面積は約115万ヘクタールと他の地方を大きく上回っており、農家一戸あたりの耕地面積が非常に広いという特徴があります。このような土地条件を背景に発展した、北海道の農業の形態として最も適切なものはどれですか。
(2019年 高知県公立入試 類似)
1. 平地が少ないため斜面を利用して行われる段々畑での農業 2. 大都市の近郊で行われる施設園芸農業 3. 大型機械を活用した大規模な経営 4. 狭い土地に多くの労働力を投入する集約的な農業
- 問4 北海道の東部に位置する太平洋沿岸の地域では、夏に「濃霧（海霧）」が発生し、日照不足などの影響を与えることがあります。この現象が発生するメカニズムの説明として、最も適切なものはどれですか。
(2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。 2. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。 3. 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。 4. 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。
- 問5 別海町を含む北海道東部の地域で、稲作や一般的な畑作よりも酪農が著しく発達した地理的な要因は何か。
(2025年 青森県公立入試 類似)
1. 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから 2. 冬の積雪量が非常に多く、豊富な雪解け水を利用して大規模な水田耕作が可能だから 3. 大都市である札幌に近接しており、新鮮な牛乳を迅速に出荷できる立地条件にあるから 4. 火山灰性の土壌が広がっており、水はけが良すぎるため根菜類の栽培に特化しているから
- 問6 北海道の石狩平野で見られる「泥炭地」の土地改良について、その目的と仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2022年 三重県公立入試 類似)
1. 砂丘が広がる乾燥した土地に、スプリンクラーなどの灌漑設備を整え、らっきょうやスイカなどの栽培を可能にするため。 2. 火山灰が降り積もった水持ちの悪い土地に、粘土質の土を混ぜ合わせることで、水田に必要な水を蓄えられるようにするため。 3. 山がちな地形で平地が少ないため、斜面を階段状に切り開いて石垣で固定し、日当たりの良さを活かしてみかんを栽培するため。 4. 水分が多く植物の遺骸が堆積した土地に、別の場所から土を運び入れることで、排水性を高め稲作に適した農地にするため。
- 問7 北海道において、近年、冬季の外国人宿泊者数が夏季の宿泊者数を上回るほどに急増している背景として、最も適切な理由はどれですか。
(2018年 山形県公立入試 類似)
1. 冬季の農閑期を利用して、外国人観光客を対象とした大規模な農作業体験ツアーが全道各地で定着したため。 2. 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。 3. 夏季の北海道は梅雨の影響で天候が不安定になることが多く、天候の安定した冬季に観光客が集中するようになったため。 4. 冬季は夏季に比べて航空運賃や宿泊代金が大幅に安くなるよう、国と地方自治体が連携して大規模な割引政策を継続しているため。
- 問8 北海道における二〇〇五年から二〇二〇年にかけての農業統計では、農業経営体の総数が五百四十七から三百四十九へと大幅に減少する一方で、団体経営の数は三十五から四十三へと増加しています。また、経営耕地面積の合計は大きな減少を見せていないため、一経営体あたりの面積が拡大しています。このような北海道農業の動向を表す言葉として最も適切なものはどれですか。
(2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 近郊農業の展開 2. 二毛作による土地利用率的向上 3. 減反政策による生産調整 4. 農業経営の大規模化
- 問9 北海道の石狩平野など、かつて植物が十分に分解されずに積み重なった湿地が広がっていた地域において、農業を可能にするために行われた土地改良の説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域では耕地面積のほぼすべてが畑や牧草地として利用されています。
(2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 気温の低さを克服するために、農地の周囲に防風林を設置し、ビニールハウスなどの温室栽培のみに特化した。 2. 大規模なダムを建設して灌漑用水を確保し、もともと乾燥していた土地を水田へと変えるための水路を整備した。 3. 他の土地から性質の異なる土を運び入れる「客土」を行い、あわせて排水施設を整備して土地を乾かした。 4. 海岸線を大規模に埋め立てる「干拓」を行い、塩分を抜くことで大規模な機械化農業に適した土地を造成した。
- 問10 ある都道府県の統計データにおいて、小麦の収穫量が約71万7千トンと全国で突出して多く、豚の飼育数も約76万頭と多くを占める都道府県として適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。
(2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 愛知県 2. 鹿児島県 3. 東京都 4. 北海道
- 問11 明治政府が北海道の組織的な開発を進めるために「開拓使」という機関を設置した際、農業に従事して土地を切り拓きながら、同時に北方の警備という軍事的な役割も兼ねて配置された人々を何と呼びますか。
(2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 屯田兵 2. 防人 3. 地頭 4. 御家人
- 問12 北海道の酪農において、近年の統計で見られる「飼育戸数が減少しているにもかかわらず、全体の生乳生産量が増加している」という現象の背景にある、生産体制の工夫を説明する用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 施設園芸農業と有機栽培 2. 経営規模の拡大と機械化 3. 減反政策と多角経営 4. 地産地消と手作業の重視